

個人の選択を尊重しつつも、安心して子育てが出来る環境づくりを進めることは、家庭はもとより地域、企業そして行政に課せられた責務であり、市としてもしっかりと取り組んでまいりたいと考えています。

保育事業の充実については、保育の質の向上を図るとともに、多様化する市民の保育ニーズに応じたサービスの提供を行なう必要があり、今後とも各種の保育事業の充実を図ってまいります。なお、幼稚園と保育所の一元化の流れがあるところ

また、児童の健全育成の面では、児童館や学童クラブとともに、ふっさっ子の広場との連携を図りながら、児童の放課後対策の充実を図ってまいります。

◆お年寄り・障害者が元気 二つ目が「お年寄り・障害者が元気」であります。

多くの市民の皆さんは、



建設中の福生病院

住み慣れた地域社会で安心して心豊かに生活を送れることを願っています。平成18年度に実施しました市政世論調査でも、施策の要望として最も高かったのは高齢福祉対策の充実でございました。誰にも訪れる高齢者への道は、避けては通れないものでございます。現に高齢にある方、やがて高齢者になるすべての市民が不安のない老後を送るには、福祉、保健、医療サービスのネットワークづくりを築く必要があると考えております。これは障害のある方も同様と考えます。

◆教育が元気 三つ目が「教育が元気」であります。

教育行政につきましては、基本的には教育委員会

また、現在建替えが進む福生病院でございますが、

必要なのは、まず、そこに住む人々が生き生きと元気に暮らす姿だと私は思います。それは安心して暮らせると感じられることだと思います。

このたびはミャンマーを襲ったサイクロンによる被害や、中国四川省での大地震で、被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

地震や風水害に強いまちづくりをハード・ソフトの両面で進めることが必要であり、それには建物の耐震化や万が一の災害時に備え、地域で助け合えるコミュニティの強化が必要でございます。

このため、今後とも既存木造住宅の耐震診断や改修についての支援をさらに進めてまいります。また、申し上げるまでもなく、災害時には近隣住民相互の助け合いが重要であり、町会、自治会を中心とした自主防災組織等が大きな役割を担っております。その重要性を踏ま

◆まちが元気 四つ目が「まちが元気」であります。



昨年行なわれた防災訓練

また、先ほど申し上げたミャンマーのサイクロン被害でございますが、近年の地球温暖化現象も発生要因の一つではないかといわれています。

地球温暖化の原因のほとんどは、CO2（二酸化炭素）による温室効果によるものだと考えられております。地球規模の対策が求められ、各国も取り組み始め、勿論我が国も取り組んでおることは御案内のとおりでございます。

福生市は、いち早くこの対策に取り組み始め、福生市環境基本計画に基づき、市も市民・事業者等とともに「福生スクラム・マイナス50%協議会」を設立し、環境と経済の好循環まちづくりに取り組んできております。

CO2削減に対する基本的な行動指針は、地球規模で考え、地域で行動することであると常々考えております。したがういまして、この地球規模での環境問題におきましても、地域での取組強化がCO2削減の推進につながることを考えております。

そのほか、暮らしに安心感を持っていただくには、火災や犯罪、交通事故に対する防止策の強化が必要でございます。消防署や警察署並びに関係団体等との連



多くの人が集まる商店街まつり

携協力により取り組みを進めるとともに、安全安心まちづくり条例の制定の準備も進め、市民が住み続けたまち、定住化が促進されるまちづくりを目指して参ります。

商業の振興は、まちにぎわいと集いをもたらす重要な役割を持っておりま。しかしながら、福生市の商業都市の発展や近隣市町への大型店舗の進出などにより、ますます厳しい環境にあることは否めません。

これまで、ハードの面では商業景観の整備と集客力の拡大を図る観点から、主要商店街のカラー舗装による道路整備や市営駐車場の設置等を行ない、また、ソフトの面では、経営改善普及事業等を推進するため、商工会への補助を行なってきておりますが、消費者ニーズの多様化もあり、依然厳しい状況でございます。そのような状況でも、若い経営者の中には元気に、かつ、前向きに取り組んでいる方も多くいらっしゃい